

# ハンドボール No 9

Japan  
Handball  
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合 番号	セ
----------	---

年月日	2022 年 10 月 8 日 (土)
大会名	第77回いちご一会とちぎ国体

## 公 式 記 録 用 紙

A	広島県										鹿児島県										B
都道府県	栃木県			市町村 野木町			会場 野木町立野木中学校体育館						回戦 準々決勝								
前半	A 12	B 16	最終 結果	A 30	B 29	第1 延長	A 6	B 5	第2 延長	A	B	7m追加 シフト	A	B							
7m得点/総数	A 1/1	チームタイムアウト						チームタイムアウト			B 1/3	7m得点/総数									
		1	2 後	3				1	2 後	3											
		1342	0843	2652				2641	1634												

No.	広島県	G	W	2'	2'	D	DR	No.	鹿児島県	G	W	2'	2'	D	DR
1	山本春花							1	飛田季実子						
2	辻菜乃香	4						2	伊地知愛妃	8					
3	石川紗衣	4						3	北園遼	4		1			
4	秋山静香	4						4	笠泉里	5					
5	中西麻由香	6						5	徳永千紘	5					
6	南夏津美	5						6	岩下彩	1					
7	加納穂伽							7	伊地知美姫	4	1				
8	田淵美沙							8	野口桃花						
9	三橋未来	6						9	寺師芽依						
10	安藤かよ	1						10	抜水355	1					
11	高木奈央							11	恒吉優香	1					
12	榎和奏							12	坂本晶						
監督A	中山剛							監督A	本藏理						
役員B	大前典子							役員B	高栖由香						
役員C	狩野弥生							役員C	川俣ゆかり						
役員D	池田彩乃							役員D	石井彩子						

A	中山剛	チーム役員A署名	本藏理	B
---	-----	----------	-----	---

特記事項

レフェリー	鵜野裕基	高橋知滉	鵜野裕基	高橋知滉
T D	細津誠	中田隆	細津誠	中田隆
M O	樋口道夫		樋口道夫	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

# ハンドボール NO 8

## 第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体

### 試合結果・戦評報告書

競技日	10月8日(土)	試合番号	E一七	回戦	準々決勝
種別	成年女子	会場	野木町立野木中学校体育館		
Aチーム名			Bチーム名		
広島県			鹿児島県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
30	12	前半	16	29	
	12	後半	8		
	3	第1延長前半	4		
	3	第1延長後半	1		
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

#### 戦評

前半は、広島が⑨三橋のサイドシュートで先制をすると、すぐさま鹿児島④笠が取り返し、序盤から激しい点の取り合いになった。広島は⑩安藤、④秋山、⑥南、③石川らが得点を重ねる一方、鹿児島は④笠と②伊地知を中心に得点を重ねていく。しかし要所で鹿児島 GK①飛田が好セーブを連発し、連続得点につなげると、徐々に流れが鹿児島に傾き、終盤までに、一時は鹿児島が16対10として6点差までリードを広げた。

後半、立ち上がりは両チームの守備が堅く、どちらも点を奪えなかったが、3分、鹿児島⑤徳永がシュートを決めると、お互いに堅守から速攻につなげるスピードあふれる展開となり、得点を重ねていく。7分、鹿児島が3連続得点で21対15と再び差を広げると、広島は悪い流れを断ち切るべく、タイムアウトを取り反撃開始。②辻が鋭くカットインでシュートを決めると、③石川、④秋山、⑨三橋が点を決め、再び点差を詰めた。鹿児島はタイムアウトで流れを変えようとするが、広島の勢いは止まらず、中盤の10分間で鹿児島が2点を取る一方で、広島は8点を加え、20分に23対23とし、ついに同点に追いついた。終盤はお互いに得点が奪えない我慢の時間帯が続いたが、23分、鹿児島⑦伊地知のミドルシュートで24点目を奪い、抜け出した。それ以降もお互いの堅守で得点が動かず、このまま試合終了がと思われたが、ラスト30秒、広島は7mTのチャンスを③石川が決めて同点とし、延長戦に突入する。

延長前半も互いにミドルシュート等で加点していったが、3分、広島④秋山の得点で27対26とし、広島がついに逆転した。しかし鹿児島も⑤徳永、③北ノ蘭の連続得点で再度逆転し、28対27で前半終了。

延長後半1分、広島は③石川の左サイドシュートで同点とし、2分に⑨三橋がパスカットからの速攻を決めて逆転したが、すぐさま鹿児島も⑤徳永のシュートで追いついた。その後お互いにシュートチャンスを決めきれない苦しい展開の中だったが、試合終了1分前に広島⑥中西がポストシュートを決め、これが決勝点になった。

記載者氏名

青木 圭

送信日時

10月8日(土) 12:55